



——日本共産党 北海道議会議員——

丸山はるみ いきいき通信 No.29

道政報告
2025年10月号






ホームページ

Facebook

X(旧 Twitter)

Instagram



OTC類似薬、保険外しなら負担増

OTC 類似薬とは、病院で処方される保険適用の薬品のうち、ドラッグストアや薬局で処方箋なしで買える市販薬と同様の効果のものをいいます。政府が2025年の骨太方針で、OTC 類似薬の保険適用を見直すとしたことで、病院で処方されていた鎮痛剤、解熱剤、保湿用軟膏などが保険適用外となれば、利用者の負担が増し、受診控えが起こるのではと、不安が広がっています。



北海道医療計画では「住民・患者の立場に立ち、質の高い医療を提供するための体制を確立する」という基本理念のもと、疾病予防や早期発見のために身近な地域での日常的な診療や健康管理、適切な医療機関への紹介等を行う「かかりつけ医」を推奨しています。

丸山道議は「OTC類似薬が保険対象から外されるとなった場合、かかりつけ医を受診したとしても処方されないという事態が起こり、かかり

丸山道議は、利用者負担が大幅に増大し、受診控えとそれに伴う重症化リスクの高まりについては日本医師会でも懸念を示しているとして、道は、国の動向を注視するだけではなく、制度改正の概要が固まる前に地域医療の実情と様々な懸念があることを国に働きかけていくべきと強く迫りました。

つけ医としての役割が果たせなくなる。基本理念に添わないものになってしまうのではないかと。さらに、子どもや慢性疾患を抱えている人にとっては、大きな不安になっているが北海道として問題とは思わないかと投げかけました。

道は、国の今後の検討状況を注視していくとの答弁に終始しました。

国に対して、あるべき医療制度の提言と要望を



使える介護制度求め 経営厳しい介護事業所守れ!!

2024年度に訪問介護の基本報酬が引き下げられ、事業所は経営困難に陥っています。道内では事業所が政令市・中核市へ集中し、訪問介護事業所が残り一ヶ所、あるいはゼロになる地域がまた増えました。事業継続のためには、報酬引き下げによる減収への支援、人材確保に向けた介護職員や介護支援専門員の法定研修費用への支援が必要です。丸山道議は保健福祉常任委員会で取り上げました。

丸山道議の質問に道は、道内の訪問介護事業所数が5年間で28ヶ所増加していると答えました。しかし、その内容は、政令市・中核市での増加率が6・9%に対し、他市町村では減少率が4・9%となっており、今年に入り、半年間で新たに2つの自治体で事業所がゼロになるなど、地域偏在が目立つことがわかりました。

訪問介護事業所ゼロ
半年間で2自治体増加



前日常任委員会で質問する丸山道議

丸山道議は、今年6月までの訪問介護事業所の倒産が、前年同期比12%増となり、その8割が介護報酬引き下げや、利用者の減少などを理由としていると示し、新潟県村上市や岩手県宮古市が支援している事例を挙げ、北海道でも支援の必要があると道に実施を求めました。さらに、丸山道議は、小樽市や網走市、苫小牧市等の実施例を紹介しながら、人材確保のためには介護員の法定研修費の負担軽減に取り組むべきと迫りました。

道は、国に対して適切な給与水準が確保される介護報酬の設定や介護支援員の

訪問介護職員・介護支援専門員の法定研修受講料への補助を！

他の介護サービスに比べ訪問介護の処遇改善加算率の引き上げ幅は大きく、北海道は所管の事業所に加算の取得を働きかけるとしていました。昨年9月1日時点で未取得だった100事業所のうち取得したのは28事業所にとどまっています。

丸山道議は進まない理由について質しました。

事業所から加算届出書類の煩雑さ、事務職員確保の困難等の意見があり北海道は、「計画書作成から取得までの併走支援を行う事業等を実施し、加算取得の促進を図る」と答弁しました。

処遇改善加算の
取得促進を！

負担軽減を国に要請するとの答弁にとどまりました。



新光トライアル付近の手押し信号機等設置へ！要求実現前進

「新光町の大型商業施設付近の道道に信号機を！」地域の皆さんから声が寄せられました。丸山道議は早速現地に足を運び、車の往来、買い物客の横断の状況を確認し、北海道警察に信号機設置の要請をしました。

信号機が設置される予定の横断歩道



信号機付きますよー！
住民の皆さんは「ガソリンスタンド近くの信号機付き横断歩道までは距離があるし、白線だけの横断歩道では、なかなか車が止まってくれない。車の往来も多くなっている」と切実です。このたび「信号機を設置します」と道警からうれしい報告がありました！！

校台線と道道小樽環状線が交差する望洋東公園前の道路の白線も消滅していました。
「安全のために早く敷設してください」と要望し、ハッキリと白線が引かれました。

望洋東公園前に 白線敷設



白線が消えそうな道路



白線が引かれた道路

長橋中学校の校内支援センター「サポートルームこねくと」視察



～「学校に行きづらい」児童生徒の居場所を校内に設置～
小樽市内小中学校が夏休み中の8月、長橋中学校を訪れました。ここは小樽市で唯一学校内に不登校支援のための教育支援センターがあります。田中孝二校長の案内で、校内を視察しました。「サポートルームこねくと」では不登校対策コーディネーターのベテラン教諭が生徒のやりたい気持ちを大切に、日々の取り組みを支えています。

～増える不登校児童生徒に安心できる居場所を～

道内小中高の不登校児童生徒数は増加し続けています。学校に行きづらい子ども達も心では「行きたい」と思っていることが多いです。教室とは別の居場所をつくることで「行きづらい」児童生徒も学校に行ける環境づくりを求めます。

2026年度予算執行に係る要望 農家支援・賃上げ助成など20項目



重点要望を提出する共産党道議団
(左から)丸山・真下両道議

安心して米作りが
行える支援を

日本共産党道議団は8月26日、鈴木直道知事に当面の道政執行と、26年度予算編成に関する重点要望を提出しました。濱坂真一副知事が対応しました。

道議団として、予算編成にあたっては、道民生活を守る施策を打ち出すことを強く求めました。当面する道政の諸課題では、国の米

増産を踏まえ、農家への設備更新の支援、所得補償、後継者のなり手支援等、安心して米づくりが行える支援の実現を求めました。

賃上げ対策、中小企業への大幅支援を

10月から最低賃金が引き上げられました。丸山道議は北海道として賃金引き上げ支援施策や業務改善助成金の上乗せ補助など、中小企業に対して大幅な賃上げを支援する対策が必要と、その実施を求めました。

北海道防衛局は8月5日、今年度の米海兵隊との実動訓練を陸上自衛隊北海道大演習場など6ヶ所で行うと発表しました。日米共同訓練の日常化は、東アジアにおける軍事的緊張を高める危険があります。日本共産党北海道議員団は、日米共同演習の中止を国に求めること、MV22オスプレイの道内飛行の中止等を求めて北海道知事に緊急要請をしました。

～オスプレイいらない！～



小樽市消防団秋季合同訓練が行われました



前日夜の大雨で開催が危ぶまれましたが、9月7日小樽公園運動場で市内消防団18分団178名が日頃の訓練成果を発表しました。

～道庁前宣伝～ 第3回定例道議会開催



泊原発の再稼働を許さず問題を明らかにし、米価が下がらない農政の誤りを質し、暮らしの厳しさを議会に届けると訴えました。